

前画面へ戻る

科目名	世界の民族音楽
科目名(英訳)	Ethnic Music in the World
科目ナンバー	NA335A03
詳細情報	授業外学修時間: 週4時間
担当者 (非)は非常勤講師	ゾン テンティン
単位数	2
開講学年	2年
開講セメスター	秋期毎週
対象学科 選択・必修	必修: 選択: NA
他学科受講	
履修順序・履修情報	
担当者及び時間割	
カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	学科専門科目の「世界と日本研究科目」として配置されている。 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ①:○ ②:○ ③:○
身につく基礎力 / 身につく汎用力	傾聴・受信力 クリティカル思考力 / 専門的知識・技能 思考力 多様性

授業の主旨 (概要)	音楽でアジアの歴史を学ぶというコンセプトで考えており、主に中国、日本、アジアに残された古典音楽から現代音楽まで幅広く学び、毎回必ずその音楽の背景と内容を知ってから音楽を鑑賞する流れを設定し、間接言語である音楽の世界をより楽しむことができる。最終回の講義はアジアから出て、南米音楽を専門に研究する外部の先生による講義と演奏を生で鑑賞するという計画もしている。本科目は、SDGs目標のうち、特に目標3,4に関係する。		
具体的 達成目標	この授業は音楽やビデオそして生演奏の鑑賞によって、学生の想像力や自己開示力を高めることができる。更に有名芸術作品の鑑賞やその歴史的な背景の学習によって、国際学科の学生ならではの不可欠な教養力を身に付けて欲しい。		
	1	【内容】	イントロダクション、授業の概要と期末試験の仕方について説明
		【授業外学習】	予習: 音楽はどこから生まれたのか
	2	【内容】	音楽の起源説を語る
		【授業外学習】	復習、ノートを確認
	3	【内容】	日本サブカルチャー(漫画、ゲーム)文化世界への進出
		【授業外学習】	復習、ノートを確認
	4	【内容】	中国音楽その1ー近代上海の租界文化とジャズ音楽の盛ん。
		【授業外学習】	復習、ノートを確認
	5	【内容】	中国音楽その2ー古代中国の音楽療法「薬と楽」の陰陽五行説と音楽の関係
		【授業外学習】	復習、ノートを確認
	6	【内容】	中国音楽その3ー今でも聞ける世界最古の楽器曾侯乙墓の青銅器「編鐘」と三国志の世界
		【授業外学習】	復習、ノートを確認

授業計画	7	【内容】 中国音楽その4ー世界の音楽界に感動を与えた中国のバイオリン協奏曲「梁祝」の世界
		【授業外学習】 授業中に書く感想文は期末試験の一部になるので必ず出席
	8	【内容】 中国音楽その5ー中国少数民族の音楽とその魅力・「酒歌」
		【授業外学習】
	9	【内容】 中国音楽その6ー大唐・シルクロード音楽と日本伝統音楽の関連性
		【授業外学習】
	10	【内容】 奈良正倉院が語ってくれる古代日本の芸能音楽
		【授業外学習】
	11	【内容】 管弦楽団が奏でる演奏で13世紀イタリア探検家マルコポーロの「東方見聞録」の世界を知る
		【授業外学習】
	12	【内容】 世界無形遺産とは、SDGsと伝統芸能の関係
		【授業外学習】
	13	【内容】 東南アジア音楽ーバリ島のガムラン音楽と神々の祭儀
		【授業外学習】
	14	【内容】 外部特別講師によるアフリカのジャンベとギターブロの演奏者の講義と実演
		【授業外学習】 必ず出席すること
	15	【内容】 筆記試験
		【授業外学習】
授業方法	毎回必ずテーマに合わせて適切な音楽と映像を鑑賞し、更にパワーポイントで音楽の歴史的な背景や関連知識を講義する。最終回の授業はプロの演奏家を招き、生演奏と現場からの紹介を聴く事を計画したい。 前回の授業に関して寄せられた質問や感想、問題に対する答えなどについては、授業冒頭に紹介したり、Course Power上で返信したりするなどして学生へのフィードバックを行う。	
成績の評価方法	期末試験60点、授業中感想文20点、最終生演奏の講義感想文10点、出席点10点	
成績の評価基準	授業態度10%、授業中の提出物20%、特別講義に関する感想文及び出席率10% 期末テスト60%	
教科書		
参考文献		
備考	成績をよくするためにインセンティブレポートの受付をします。テーマは自分が最も関心のある音楽或いは楽団について論理的に述べてください。字数は自由。	
関連ホームページ		
メールアドレス	ツオン ティンティン tingting@fsc.chubu.ac.jp	
オフィスアワー		